○一時停止するには

演奏を途中で停止させるときはFボタンを押してポーズモードを選びます。このときディスプレイ部に“PAUSE : OFF”が表示されます。
調整ボタンの上側を押すと、演奏が一時停止され、ディスプレイ部に“PAUSE : ON”が表示されます。一時停止中は、ディスプレイ部に“PAUSE”が表示されます。
一時停止中に調整ボタンの下側を押すと、演奏を一時停止した位置から再び演奏が開始されます。

バンド ボタンを押すとポーズ モードが解除されます。

○イジェクト ボタン

MDイジェクト ボタンを押すとディスクが押し出されます。

○その他の機能について

リピート モード

同じ曲を繰り返して聞くときは、繰り返して聞きたい曲が再生されているときにFボタンを押してリピートモードを選びます。
調整ボタンの上側を押すと、リピート演奏が開始されます。このときディスプレイ部には“REPEAT : ON”が表示されます。
リピート演奏中にリピート モードで調整ボタンの下側押すと解除されます。

バンド ボタンを押すとリピート モードが解除されます。

ランダム モード

ディスク内の曲を順不同（ランダム）に聞くときは、Fボタンを押してランダム モードを選びます。
調整ボタンの上側を押すとランダム再生を開始します。このときディスプレイ部には“RANDOM : ON”が表示されます。演奏中の曲が終わるとディスク内の曲が順不同に演奏されます。
ランダム モードで下側ボタンを押すと解除されます。

バンド ボタンを押すとランダム モードが解除されます。

4

スキャン モード

聴きたい曲を探すときは、Fボタンを押してスキャンモードを選びます。調整ボタンの上側ボタンを押すとディスプレイ部に“T.SCAN：ON”が表示されます。ディスク内の全曲を10秒間ずつ演奏します。スキャン モードで下側ボタンを押すと解除されます。

バンド ボタンを押すとスキャン モードが解除されます。

MDのタイトルを表示させるには

Dボタンを押すごとに、再生経過時間表示→ディスク タイトル表示→トラック タイトル表示が切り替わります。隠れているタイトルを表示させるには、Dボタンを2秒以上押します。隠れている文字が順番に表示されます。

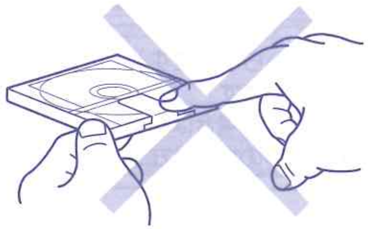
アドバイス

- ディスク タイトルおよびトラック タイトルが入力されていないMDで表示を切り替えると“NO D.DATA”および“NO TR.DATA”が表示されます。

アドバイス

- エンジン停止時は、ラジオ、MDを長時間つけたままにしないでください。バッテリーあがりを起こし、エンジンの始動ができなくなります。
- 本機は、水分や高温、多湿、ほこり、ゴミを嫌いますので、車内清掃や換気に十分ご注意ください。
- 本機には、下記マークの付いているMDをご使用ください。

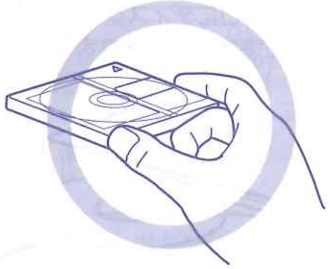
- MDのシャッターは手で開けないでください。



- MDの挿入口にはディスク以外のものを入れないでください。故障の原因となります。
- 振動の激しい悪路を走行すると、音飛びを起こすことがあります。

アドバイス

- MDは、水平にし、ディスクの中央を押し挿入してください。



- ラベルのはがれかかったMD、またケースが変形しているMDのご利用は避けてください。メカニズムの故障の原因となります。
- 車内の温度に気をつけてください。極寒や酷暑のとき、とくに夏期は車内の温度が大変高くなり、故障の原因となるおそれがありますので、車内の換気に注意し、適温で使用してください。
また、車を降りられるときには、必ずMDを本体から抜いてケースに入れて高温とならない場所に保管してください。
- 本機のお手入れは、乾いた柔らかい布で拭いてください。固い布や、ベンジン、シンナー、アルコール等は絶対に使用しないでください。本機の損傷の原因となるおそれがあります。また、汚れがひどい場合には柔らかい布を水またはぬるま湯に浸し、軽く拭き取ってください。
- MDを直射日光に長時間あてないでください。高温、多湿の場所（インストルメント パネルの上やシートの上など）への長時間放置もさけてください。MDがひずみ、使用できなくなるおそれがあります。

■CDプレーヤーの操作方法■

1. エンジン スイッチを“ON”または“ACC”の位置にします。
2. ディスクのラベル面を上にしてディスク差し込み口にディスクを差し込むと、自動的に演奏が開始されます。

○早送り、早戻しボタン

選曲するとき

調整ボタンの右側または左側を押します。

曲の再生中に左側を押すと、その曲の始めに戻ります。このときもう一度押すと前の曲になります。

- 次の曲を再生する場合は右側
- 前の曲を再生する場合は左側

早送り、早戻しするとき

調整ボタンの右側または左側を押し続けます。そのまま押し続けている間、聞いている曲が早送り、早戻しされます。

ボタンから手を離すとその位置から再生を始めます。

- 早送りの場合は右側
- 早戻しの場合は左側

○一時停止するには

演奏を途中で停止させるときはFボタンを押してポーズモードを選びます。このときディスプレイ部に“PAUSE : OFF”が表示されます。

調整ボタンの上側を押すと、演奏が一時停止され、ディスプレイ部に“PAUSE : ON”が表示されます。一時停止中は、ディスプレイ部に“PAUSE :”が表示されます。

一時停止中に調整ボタンの上側を押すと、演奏を一時停止した位置から再び演奏が開始されます。

バンド ボタンを押すとポーズ モードが解除されます。

○イジェクト ボタン

CDイジェクト ボタンを押すとディスクが押し出されます。

4

○その他の機能について

リピート モード

同じ曲を繰り返して聞くときは、繰り返して聞きたい曲が再生されているときにFボタンを押してリピートモードを選びます。
調整ボタンの上側を押すと、リピート演奏が開始されます。このときディスプレイ部には“REPEAT : ON”が表示されます。
リピート演奏中にリピート モードで調整ボタンの上側押すと解除されます。

バンド ボタンを押すとリピート モードが解除されます。

ランダム モード

ディスク内の曲を順不同（ランダム）に聞くときは、Fボタンを押してランダムモードを選びます。
調整ボタンの上側を押すとランダム再生を開始します。このときディスプレイ部には“RANDOM : ON”が表示されます。演奏中の曲が終わるとディスク内の曲が順不同に演奏されます。
ランダム モードで下側ボタンを押すと解除されます。

バンド ボタンを押すとランダム モードが解除されます。

スキャン モード

聴きたい曲を探すときは、Fボタンを押してスキャンモードを選びます。
調整ボタンの上側ボタンを押すとディスプレイ部に“T.SCAN : ON”が表示されます。ディスク内の全曲を10秒間ずつ演奏します。スキャン モードで下側ボタンを押すと解除されます。

バンド ボタンを押すとスキャン モードが解除されます。

○CDのタイトルを記憶させるとき

CDのタイトルを表示させるために、あらかじめタイトルの入力をおこない記憶させておきます。

タイトルの記憶

1. タイトルを入力したいCDを再生します。
2. Fボタンを2秒以上押し、Fモードに切り替えたのち、Fボタンを押し、タイトル入力モードに切り替えます。このときディスプレイ部に“TITLE IN”が表示されます。

3. 調整ボタンで入力する位置を選びます。
   - 左側…左に移動させるとき
   - 右側…右に移動させるとき

4

4．調整ボタンで入力する文字を選びます。
- 上側…次の文字を選ぶとき
- 下側…前の文字を選ぶとき

選んだ文字が点滅します。選べる文字は次の表のように切り替わります。

押すボタン	選べる文字
1ボタン（1ボタンを押すごとに切り換わります）	アルファベットの小文字(a~z)、空白(_)
	アルファベットの大文字(A~Z)、数字(0~9)、記号(!、#、& など)、空白(_)
2ボタン	数字(0~9)、記号(!、#、&など)、空白(_)
3ボタン（3ボタンを押すごとに切り換わります）	カタカナ(ア~ン)、ハイフン(-)、空白(_)
	拗促音(ァ、ョ、ッなど)、濁音、半濁

5．入力が完了したら、余った部分を空白にし、10文字目を点滅させます。

6．調整ボタンの右側を押すと入力位置の点滅が終わり、入力したタイトルが記憶されます。バンド ボタンを押すとタイトル入力モードが解除されます。

アドバイス
- タイトルは10文字まで入力できます。
- 記憶はCDごとにおこなわれます。CDを入れ替えてもそのCDの記憶は消えません。
- タイトルはCD48枚分の記憶ができます。
- 48枚を超えたときは、一番古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。
- タイトル入力中（文字が点滅しているとき）にバンド ボタンを押すと、タイトル入力モードが途中で解除されます。（この場合、入力中のタイトルは記憶されません。）

○CDのタイトルを表示させるには

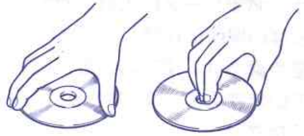
Dボタンを押すごとに、再生経過時間表示→ディスク タイトル表示が切り替わります。

アドバイス
- ディスク タイトルが入力されていないCDで表示を切り替えると "NO TITLE" が表示されます。

アドバイス
- 本機には下記マークの付いているコンパクトディスク（光学式デジタル オーディオ ディスク）をご使用ください。

COMPACT disc DIGITAL AUDIO

- ディスクを持つときは、信号面をさわらないようにしてください。両端をはさむようにして持つか、中央の穴と端をはさんで持ってください。



- ディスクは本機内部で高速回転しますので異常なディスク（ハート型など異形のディスク、ヒビが入ったディスクや大きくそったディスク）は使用しないでください。

- ラベル面（曲目印刷面）にも紙やシールなどを貼付けたり、キズなどを付けないようにしてください。
- ディスクに指紋やホコリが付いた場合でもディスクに記録された信号には直接影響しませんが、汚れにより信号記録面からの反射光の明るさが低減して音質が低下したり、音飛びを起こす場合があります。
ディスクが汚れたときは、柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。

アドバイス

- レコード スプレー、帯電防止剤などは使用できません。またベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品をかけると表面が侵されることがありますので使用しないでください。

- ディスクは従来のオーディオ レコードと同様にプラスチック製です。そらないように必ずケースに入れ、直射日光の当たらない場所に保管して下さい。
- 真夏や真冬は、車内の温度が極端に変化していますので、車内を適温にしてご使用ください。
- ディスク差し込み口に、ディスク以外のものを入れたり、磁石やドライバー等を絶対に近づけたりしないでください。
- 振動の激しい悪路を走行すると、音飛びを起こすことがあります。
- ディスクをイジェクト状態のまま長時間放置しないでください。直射日光などの影響によってソリの原因となります。ディスクは必ずケースに入れ、直射日光の当たらない場所に保管してください。
- 8cmCDをイジェクト状態のまま走行しないでください。走行中の振動によりディスクが落下することがあります。
- 真冬の車内は極度に冷えています。この状態でヒーターを入れて、すぐに本機を使用するとディスクや光学部品（プリズムやレンズなど）が曇って正常な演奏をおこなえないことがあります。ディスクが曇っているときは、柔らかい布で拭いて下さい。
  光学部品が曇っているときは、1時間ほど放置しておけば自然に曇りがとれ正常に作動します。

■ 便利な機能について ■

○イコライザー調整

あらかじめ用意されたイコライザー カーブの中からお好みのイコライザー カーブを選ぶことができます。イコライザー ボタンを押すごとに、BASS→HEAVY BASS→VOCAL→FLATの順に切り替わります。

アドバイス

- イコライザー調整は、各ソースごとに設定することができます。
- 交通情報も一つのソースとして設定することができます。（☞ラジオの操作方法 交通情報ボタン 参照）

○サイド バー表示

各ソースを聞いているときに3種類のサイド バー表示を楽しむことができます。

表示切り替え方法

聞きたいソースを選択し、S/Aボタンを2秒以上押します。ボタンを押すごとに、ランニング インジケーター→常時点灯（全点灯）→スペアナ連動の順に切り替わります。

アドバイス

- “スペアナ連動”は現在選択しているスペアナ表示と連動して点灯します。
- “スペアナ表示”をインディにしているときは、サイド バー表示を切り替えることができません。

スペアナ表示の切り替え

各ソースを聞いているときに3種類のサイド バー表示を楽しむことができます。聞いているときに、7種類のスペアナ表示を楽しむことができます。

表示切り替え方法

聞きたいソースを選択し、S/Aボタンを押します。ボタンを押すごとに、ピークバウンド→レインフォール→クロス→L&R→アップアンドダウン→インディ→イコライザーカーブの順に切り替わります。

○ディマー機能

夜間、周囲が暗くなったときにディスプレイがまぶしくならないように、ライトスイッチを“ON”にするとディマーが働き、ディスプレイが暗くなります。

ディマーのON-OFF

電源が“OFF”の状態でFボタンを2秒以上押し、ファンクション モードに切り替えたのち、Fボタンを押し“DIMMERモード”に切り替えます。
調整ボタンでON、“OFF”を切り替えます。

- 上側…DIMMER :ON
- 下側…DIMMER :OFF

バンド ボタンを押すとDIMMER モードが解除されます。

4

○学習機能

よく使う機能をソースごとに、プログラム ボタンに学習させることができます。学習させた機能は、モードを切り替えなくても操作できるようになります。

1. Fボタンを2秒以上押し、Fモードに切り替えたのち、Fボタンを押し“PGM-FUNC”モードに切り替えます。
2. 調整ボタンの左側または右側で学習させたい機能を選びます。次表の機能が学習可能です。
3. 調整ボタンの上側を押すとディスプレイ表示の点滅が止まり、選んだ機能が学習されます。
4. バンド ボタンを押すと“PGM-FUNC”モードが解除されます。

内蔵MD/CDのとき

学習できる機能	押す	2秒以上押す
PAUSE(ポーズ)	ON/OFF	—
REPEAT(リピート)	ON/OFF	—
RANDOM(ランダム)	ON/OFF	—

ラジオのとき

学習できる機能	押す	2秒以上押す
BSM(ベスト ステーションズ メモリー)	OFF	ON

アドバイス

- 初期設定では、内蔵MD/CDでポーズ、ラジオでベスト ステーションズ メモリーが学習されています。

○時計、カレンダー表示

電源が“ON”のときイコライザー ボタンを2秒以上押すごとに、各ソースの表示→時計表示→カレンダー表示の順に切り替わります。

アドバイス

- 時計表示、カレンダー表示のときに他の操作をすると時計表示、カレンダー表示は一度解除されますが、約25秒後にもとの表示に戻ります。

○時計の使いかた

時刻調整

1. 電源が“OFF”のとき、Fボタンを2秒以上押します。
2. 調整ボタンの左側または右側で時調整、分調整を選びます。
   - 左側…時調整
   - 右側…分調整
3. 調整ボタンの上側または下側で調整します。
   - 上側…時刻を進めるとき
   - 下側…時刻を戻すとき
4. バンド ボタンを押すと解除されます。

4